

「企業誘致^なと経済の活性化」が重点

～誰もが自分の力を発揮できるまちづくり～



山口伸樹(やまぐち しんじゅ) 1958年10月12日生まれ。63歳。国土館大学政経学部卒。県市長会会長、全国市長会副会長。90年に県議会議員に初当選すると、その後4期連続で当選を果たす。趣味は磯釣り。最近では健康づくりのため、夜間に1時間程度のウォーキングをしている。好きな言葉は母校の校訓、「気魄」。何事も「できる」という気持ちで取り組めば成し遂げられる。

◆プロフィール◆

新ごみ処理施設へ準備

4月30日に告示された笠間市長選挙で、現職の山口伸樹市長が2期連続の無投票で再選した。山口市長は2006年の笠間・友部・岩間の3市町合併に伴う市長選で初当選。道の駅かさまや国内最大級のスケートボード施設「ムラサキパークかさま」の開業、茨城中央工業団地への企業誘致など、強いリーダーシップを発揮してきた山口市長に5期目の展望を聞いた。

「これまでの4期を振り返って。まさに「あつ」という間の16年だった。制度や組織考え方は地域によって違いますが、これを統一する必要がある。合併直後は大変だったが、住民サービスは向上を取り組み、今では様々な違いをほぼ統一できた。住民にとって身近な行政が格差なくスピーディーにサービスを提供する」といふ、合併本来の目的を達成できていると認識している。

「設へと進化させていくことが重要。5期目の4年間について、緊張感を持ってスピーディーに市政の発展に取り組んでいく。どの自治体も抱える課題は同じである。人口減少・少子高齢化や新型コロナウイルス感染症などにより、地方は疲弊している。そうした中、市民の元気が出る政策に取り組まなければならない。」

「5期目の重点施策として、企業誘致や所得向上、設へと進化させていくことが重要。茨城中央工業団地以外の受け皿として、36・9haとまとまった土地のある安居工業地域の整備も推進する。市が行うのは道路や水路などの整備。本年度は地元のご理解をいただきながら、用地買収や区画道路整備に必要な路線測量、実施設計などを進める。常磐道岩間ICからアクセスが良くなり、来年再来年ごろには企業誘致に結びつけていきたい。」



「多様な人材の育成・確保の推進、デジタル化の推進、脱炭素社会の実現などに取り組む。誰もが自分の力を発揮できるまちづくりを目指していきたい。」

「一般廃棄物ごみ処理施設や笠間PAスマートIC、岩間消防署建替えなどの大型事業について、既存の環境センターは稼働開始から約30年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、隣接するテラウンドに建て替えを行う。当時の関係者のご尽力により用地を確保していたため、比較的速やかに事業を進めることができ、供用開始は2028年度を予定している。本年度は基本計画の策定や環境影響調査、PFI等導入可能

「5年後、10年後という長いスパンで見た時にその機能の重要性が出てくると思う。特に防災の時期をはじめとする観光シーズンの際は、周辺道路の渋滞が著しく、国道50号や国道355号の混雑区域を避けた新たなルートが確保できれば、観光地へのアクセス向上や周辺渋滞の緩和が見込

「まず、笠間芸術の森公園内にある笠間工芸の丘は、大規模改修工事に向けて設計に着手する。センタープラザ、マイアトリエ、ふれあい工房、窯場などがあり、中でも人気なのはカフェ。厨房の機能強化を図り、魅力を高めていきたい。また、工芸品の販売方法は、従来の大量陳列よりも作家との対面販売が主流になっており、そういった要素も加えていきたい。」

「また、天狗の森公園についても、整備から約20年が経過していることから、デザイン・リニューアルを推進する。昨年度、改修基本計画を策定し、本年度は公団全体の改修にかかる設計をまとめる。近隣のグランピング施設「エトワ笠間」も人気なので、子どもだけでなく大人も楽しめる施設として、愛宕山地域のさらなる活性化につなげていきたい。」

岩間消防署建替に着手

「将来的な観光振興のためにも機を逸さず進めるべきと考える。岩間消防署は老朽化が進み、本年度から2カ年間で災害に強い、機能的な庁舎に建て替える。これにより消防・救急体制の強化はもとより、職員の就業環境の改善にもつながる。」

「観光まちづくりの方針は、基本的には既存施設をどう活かすかに注力していく。東日本大震災など大規模地震の際や、ゲリラ豪雨や風水害時の対応、大雪の際の除雪、破綻した水道管の対応など、迅速な応急復旧作業に「尽力いただき感謝申し上げます。行政としても可能な限りサポートしていきたい。」

「地元建設業にメッセージを。地域の建設業は地域にあってはならない存在。東日本大震災など大規模地震の際や、ゲリラ豪雨や風水害時の対応、大雪の際の除雪、破綻した水道管の対応など、迅速な応急復旧作業に「尽力いただき感謝申し上げます。行政としても可能な限りサポートしていきたい。」

「観光まちづくりの方針は、将来的な観光振興のためにも機を逸さず進めるべきと考える。岩間消防署は老朽化が進み、本年度から2カ年間で災害に強い、機能的な庁舎に建て替える。これにより消防・救急体制の強化はもとより、職員の就業環境の改善にもつながる。」

「観光まちづくりの方針は、将来的な観光振興のためにも機を逸さず進めるべきと考える。岩間消防署は老朽化が進み、本年度から2カ年間で災害に強い、機能的な庁舎に建て替える。これにより消防・救急体制の強化はもとより、職員の就業環境の改善にもつながる。」

社会資本整備を通して、地域経済の発展に貢献致します

笠間市建設業協力会

会長 清水 恵二 副会長 小松崎 卓 事務局長 杉田 周平
副会長 高橋 智 副会長 仙波 秀教

- | | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| (株) 愛郷園 | (株) ゴミタ | (有) 中島工務店 | (株) 大平建設 | (有) 横手造園 |
| (株) 岩倉緑化産業 | (有) 清水工務店 | (有) 長谷川工業 | (株) 大平工務店 | (株) 芳野工業 |
| (株) イワオ石材 | (株) 昭和造園土木 | (有) ヒラヤマ建設 | (株) 大平造園土木 | (株) 川根拓実 |
| (有) 大枝建設 | (株) スガハラ | (株) 福原石材工業 | (有) 川井造園土木 | (株) 川根設備工業 |
| (株) 柿の木坂造園 | (株) 仙波建設 | (有) ホウメイ工業 | (株) 久栄 | (株) 小松崎建設 |
| 笠間重機土木 | (株) 高田工務店 | (有) 山口設備 | (有) 佐藤設備工業 | (株) 柴山土建 |
| (株) 久工 | (株) 田中造園土木 | (株) 阿部建設 | (有) サン・ペーパー | (株) 嶋土建 |
| (有) 郡司組 | (株) タカタ | (株) イチゲ電設 | (株) スガヤ工務店 | (有) にこにこ建設 |
| (有) 小池工務店 | 友常石材 | (株) 海老重建設 | (有) 鈴木緑化建設 | (株) 根本金物店 |
| | | | 須藤建設 | (株) ミシマ工業 |
| | | | (株) セイワ | (株) 美野里建設 |
| | | | (株) 大信建商 | (株) 横倉工務店 |
| | | | 日本営繕工業 | (株) 和多屋建設工業 |
| | | | (株) フカツ | 全57社 |
| | | | (有) モリタ建設 | |